

学校図書館部自主研修会
「りぶらのバックヤードツアー＆子供にお薦めの本の紹介」

1 概要

岡崎市では毎年、学校図書館部が主催する自主研修会を行っています。本年度は、7月5日に岡崎市中央図書館「りぶら」にて、図書館職員の方を講師としてお迎えし、バックヤードツアーと児童生徒に薦める本の紹介を行っていただきました。岡崎市内の小中学校から参加者を募集し、40名ほどの教員が参加しました。

2 研修内容

①児童生徒にお薦めの本の紹介

研修前半は、2名の図書館職員の方にブックトークの形式で児童生徒に薦める本を紹介していただきました。実際に岡崎市内の中学校を訪問した際に行ったブックトークを実演してくださいました。1つ目は、「ねこねこワールド」というテーマで猫に関する絵本や小説を、2つ目は「とてもとてもふしぎな、それでいてきわめて日常的なひとつの秘密」というテーマで、時間に関係する小説やスポーツに関する本を紹介していただきました。どちらの方も、紹介する本の読み聞かせをしながら、聞く側に問いかけたり、落語を交えて工夫したりしながら紹介して下さったので、参加された先生方もトークに引き込まれて聞き入っていました。最後には、ブックリストもいただくことができ、2学期からの読書指導に生かせる有意義な機会となりました。



②バックヤードツアー

研修後半は図書館職員の方の案内で、普段は見る事ができない中央図書館のバックヤードを見学しました。夜間返却口に投函された本がスロープを伝って仕分け棚まで届く仕組みや、自動書架の内部で膨大な本の中から注文された本を自動で探し出し、受け渡し口まで届く様子を見ることができました。また、郷土の貴重な資料を大切に保管している部屋や、障害をもった方への読み聞かせを行っている部屋なども見ることができ、今まで知ることができなかった中央図書館の重要な役割を知ることができました。



3 参加者の感想

- ・本をたくさん読んでいる生徒ならブックトークができそうなので、チャレンジさせたいと思いました。
- ・図書館の方が学校でブックトークをして下さることを知らなかったなので、ぜひお願いしたいと思いました。
- ・たくさん本を管理するのに、いろいろな工夫がされていることが分かって面白かったです。
- ・図書館の裏側を初めて見ることで面白かったです。裏側でたくさんの方が働いていらっしゃることを知り、子供たちにも伝えたいと思いました。